

年月日

24 01 10

ページ

19

N.O.

—2024年3月期は、ロシア航空会社から回収できなくなつた航空機の保険金を受領したことにも影響し、当期純利益が過去最高を見込んでいます。

「航空機の需要が回復していることに加え、航空機リースを手がけるSMBCAビーションキャピタル（AC）を通じて同業のアイルランドのゴスホークを買収した効果が出た。不動産も売却益を中心に数字を上げている。今の為替水準が続ければ、26年3月期の目標に掲げる経常利益1450億円を今期達成できるかもしぬな

い。ただ、今の事業環境は地政学リスクの高まりもあり、非常に変動的だ。企業の賃上げや設備投資が活発になると経済の潮目にあると感じている」

—SMBCAは、保有・管理・発注済みの航空機が合計で約1000機に上ります。

## VISION 展望 2024

三井住友ファイナンス&リース社長 橋 正喜氏



「引き続き航空機リース世界2位のポジションを維持したい。業界を年5%程度は成長させていきたい」

三井住友フィナンシャルグループ（FG）、  
住友商事の2社を株主に持ち、高い調達力と  
信用力があるのが当社の強みだ。今後、メー  
カーやエアラインとの関係をさらに深め、事  
業を年5%程度は成長させていきたい」

方針は、「借り入れをどんどん増やすわけにはいかない。そのため、資産

# 航空機を軸に成長実現

力しています。

「年間1億円強のキ

ヤツシユフローを生ん

でいる。顧客ニーズに

合わせたサービスを提

供する部署を持つてい

りたい。支援する研修

制度も作っている」

—クラウド型資産管

理サービス「アセット

は部署を分社化しても

良いと考えている」

カーやエアラインとの流動化も進めている。傘下のケネディクスが手がけるブロックチェーン（分散型台帳）技術を応用した『セキュリティートークン』を航空機でも活用できるだろう。カナダの年金基金から1000億円規模の資産を航空機で運用する話も来ている」

「デジタル人材の育成を進めています。自ら指す姿にデジタル先進企業を掲げた。金社員がデジタル人材だと呼ばれるようにな

## 記者の目 海外需要の取り込み力ギ

### 記者の目

旧日本GE、ケネディクス、ゴスホークなどを買収し、デジタル革新（DX）や不動産、航空機といった注力分野の拡大に向けて布石を打ってきた。15年以降、買収に投じた金額は公表しているだけで1兆円規模に上る。国内市場の成長が鈍る中、買収をテコに拡大する海外需要を取り込めるかが成長のカギになる。

(石川雅基)